

七転八起

2013.3月 株式会社富士飼料 第22号

「看板を背負う」意識

先日、久しぶりに国分町から仙台駅前までタクシーに乗りました。その運転手さんの愛想が悪い事、悪い事、非常に不愉快でした。こちらから話しかけても、嫌々の対応。密室の車の中で不快感が伝わってきます。確かに距離的には一区間くらいでロングのお客ではないので損なのかもしれませんが、それでも高いタクシー代をちゃんと払うお客様なのに、と思いました。

一番残念だと思った事は、その心ないたった一人の不愉快な運転手のせいで、たまにしか乗らない私などタクシー業界全体、あるいはタクシードライバー全員がそのように不秩序でマナーの悪い人なのだと思ってしまう事です。中には良いドライバーさんも居るはずなのに、このドライバーのせいで台無しですし、タクシーにまた乗りたいと思わなくなります。

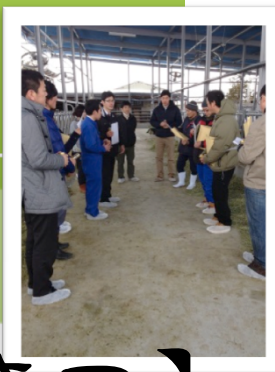
自分に置き換えて、当社も安易な対応をしていないか不安です。先日、何軒かお客様に対する対応の悪さが耳に入りました。謙虚に出直し、徹底して頑張ります。お客様より私に直接の叱責ご指導の程宜しくお願い致します。

代表取締役 小松浩義

【宮城県北バーンミーティング】

去る2月26日に、当社TMRセンターアップルのお客様である跡部牧場様(宮城県登米市)にてバーンミーティングを開催させて頂きました。県内各地より7名の酪農家様ご参加の元、講師には日配研究所から浦本氏と石井氏を招きました。育成牛の育て方、飼養管理、跡部牧場様の問題点と改善点を、現場を観ながら話し合いました。今後もバーンミーティングや勉強会等、定期的を開催致しますのでご案内させて頂きます。

【バーンミーティング】とは牛舎内で実際に乳牛に触れながら、乳牛の見方や改良の進め方、飼養管理のポイントなどを学ぶ勉強会(宮城県北「養牛」担当：松浦卓也)



【ごあいさつ】

昨年の夏から新規事業のお手伝いで、営業業務から離れていましたが、お手伝いも一段落しましたので、この度営業へ戻る事が出来ました。まだまだ勉強中の身ではありますが、お客様のお役に立ちできるよう頑張りますので、どんなことでも気軽に お声掛けをお願いします。

(宮城県北「養牛」担当：斎藤勉)



助成金情報

「宮城県事業復興型雇用創出助成金」のご案内

宮城県では、東日本大震災の被災地域において安定的な雇用を創出すること及び地域の中核となる産業や経済の活性化に資する雇用を創出することを目的として、一定の要件のもとに被災求職者の方を雇い入れた民間事業主等に対し、雇い入れに係る3年間の費用の一部を助成する制度を創設しました。

事業の詳細な内容については、宮城県雇用対策課のホームページをご覧ください。

問合せ先：宮城県経済商工観光部雇用対策課

<http://www.pref.miyagi.jp/koyou/>

畜産情報

2012年(1-12月)の配・混合飼料の生産量は約2,420万トンとなり、前年比で100.8%でした。震災の影響もあり、ここ2年間は連続して前年比実績を割り込んでいました。▼採卵鶏関係は前年実績を下回ったが、ブロイラー/養豚/乳牛/肉牛は前年を上回りました。▼飼養頭羽数が増えたことが飼料需要に繋がっていますが、これは即ち畜産物市況の低迷にも繋がっている事を意識しなければなりません。▼適正な飼養頭羽数を維持する事により、畜産物市況も維持する必要があります。

(宮城福島山形担当：二瓶洋一)